



アライグマ に注意!

～その被害を防止するために・・・～

北アメリカからペットとして日本にやってきたアライグマ。
名古屋市内でも野生化し、近年、家屋への侵入や農作物への被害が報告されています。
アライグマの被害にあわないためには、その生態を知り、被害を未然に防ぐことが必要です。

アライグマってどんな動物？

- 顔**
- ・鼻すじに黒い線がある。
 - ・耳は少しとがり、白い縁どりがある。
 - ・目のまわりから頬にかけて黒いマスクがある。
 - ・ヒゲが白く目立つ。

- サイズ**
- ・尾を含めた長さ 60 ～ 100cm。
 - ・体重 4 ～ 10kg。

手足

- ・指は5本で細長い。
- ・足あととは、ヒトの手形と似ている。

5cm



前足の跡



後足の跡



体色

灰白色の場合が多いが、黒っぽいものもいる。

尻尾

黒と茶色のしま模様 (5～7本)。

多様な環境で生息可能

- 水辺を好み、森林、農地のほか、市街地でも生息できます。
- 民家の屋根裏や社寺にすみつくこともあります。
- 夜行性ですが、しばしば昼間にも活動します。

高い繁殖力

- 毎年4～6月ごろに、3～6頭の子を出産します。

何でも食べる!

- 雑食性で、果物、野菜、穀物、哺乳類、トリのひなや卵、サカナ、昆虫などを食べます。
- ペットフードも食べます。

外来生物法に基づく規制 アライグマは、外来生物法における「特定外来生物」に指定されています。

飼育、保管すること

生きたまま運搬すること

野外に放つこと

などの行為が、原則禁止されています。

(外来生物法は、正式には「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」といい、平成17年6月1日から施行されています。)



どんな被害があるの？

生活環境への被害

- 人家の屋根裏や空き家にすみつき、繁殖します。
- 家屋を糞尿で汚したり、柱や壁を爪で引っかけて傷つけます。
- エサを探して、放置された生ごみを漁ります。
- 屋外の鉢で飼育しているキンギョなどが被害を受けた事例もあります。

農作物への被害

- 甘みのある作物を好み、田畑や家庭菜園に侵入して食い荒らします。
- 名古屋市では、ブドウ、トマトなどへの被害が報告されています。

生態系への被害

- 日本にはアライグマの天敵がおらず、在来の生きものや生態系に影響を与える恐れがあります。
- 名古屋市では、カメや両生類（カエルやサンショウウオ）など、小動物を捕食している可能性があります。



天井裏での寝床



屋根の上の糞



被害を防ぐためにできる3つのこと

① エサとなるものを放置しない。

- 家庭ごみや、収穫した農作物を野外に放置しない。
- ペットのエサの食べ残しは片付ける。

② 家屋への侵入を防ぎ、入らせない。

- 建物への入口となるような壁の穴は塞いでおく。
- 池で魚やカメを飼っている場合には、金網で覆う。
- 家屋への侵入経路となるような木の枝などは切る。

③ 見かけても触れない。

- アライグマは鋭い爪や歯を持っているので、無理に取り押さえない。
- 感染症をもつ可能性があるため、糞尿を処理するときも、マスクやゴム手袋を着用する。



名古屋市内でみられる外来哺乳類



アライグマ

外来生物法 特定外来生物



ハクビシン

愛知県条例 条例公表種



シベリアイタチ

よくまちがえられる 在来哺乳類



タヌキ

名古屋市版レッドリスト2015 準絶滅危惧

わたしたちに できること。

外来種の広がった原因のひとつに、ペット遺棄があります。ペットを飼う前には、その生きものについてよく調べることが大切です。

- ☆どのくらい大きくなるのか
- ☆どれくらい長く生きるのか
- ☆どんな性格なのか(例：臆病、どう猛) など

そして、飼いはじめたときは責任をもって最後まで飼い続けましょう。



● アライグマを目撃したら、なごや生物多様性センターまで情報をお寄せください。 ●

名古屋市環境局 なごや生物多様性センター

〒468-0066 名古屋市天白区元八事五丁目 230 番地

TEL 052-831-8104 【受付時間 8:45 ~ 17:30 (土・日・祝日を除く)】

FAX 052-839-1695

Eメール bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp